

# 秋のまるごと市から思うこと

●人が集まる場を



## まるごと市予定を変更し実施

10月26日(土)に秋のまるごと市を行ないました。秋本番の10月の土日は何かと行事が入っていて、例年の第3日曜日からこの日に急ぎよ

変えまして予定された方申し訳ありませんでした。例年に比べ来られた方

は多くはなかったですが、話に花が咲き、楽しい1日となりました。多くの方が関わって下さいました

まるごと館オープン以来、年2回実施のまるごと市、既に21回も。きっとひとりだけな

ら、くじけてしまっていたでしょう。まるごと館趣旨を理解し、共に歩んで下さる方々の存在ぬきには館のことを語れません。それが、10年以上ずっと続けて来られた理由です。



## 人と人のつながりを

地域の中で、自分たちでつながって中味を作ってゆく試み。今は人と人の交わりが言われる。特に災害時。昨年の台風21号や今年の19号は今まで



## 八幡まるごと館だより

2019年11月4日/119号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

では考えられなかった程の勢力で(元はと言えば人間が作り出したもの)、今年は89人もの方が亡くなられ、6人の方が行方不明と。被災された方々には辛い思いをされ、先が見えない中で生

きていらっしゃる。胸が痛みます。今の状況をちゃんと捉え、対策をとって動かないと、地球上どこにでも起こり得る、私たちはそんな状況の中ひまです。

ふだんの生活で、自分たちに出来ることは自分たちで動く。つながりを作る。それが地域を活性化するし、災害時に有効になっていくのではないかと、まるごと館にしながら、そんなことを思っています。

次に、2011年春のまるごと市からずっと、売り上げの一部を今回も積み立てて、寄付している子ども保養キャンプについて書きます。

## 子どもを地面に下ろすのも怖い

2011年福島県郡山市の幼児を抱えた保護者が健康相談会で涙を流して語った言葉。こういう気持ちで日々日常を送る生活を他地域に住む人間がどれだけわかっているのか、またわかっていて

いるのか(筆者も含めて)ということか。「外に出せないために子どもたちの肌は真っ白だったという。先の女性は「まずは保養を」と勧められ、母子で保養に参加し、少しずつ外遊びを覚えていったそう。

## 保養キャンプのこと

2011年3月11日の東日本大震災の福島原発事故。避難者は2012年6月34万6987人をピークに2017年3月11万9163人に。この年の3月末に自主避難者の住宅の無償提供が打ち切られ、それ以降区域外避難者は避難者数にカウントされなくなった。事故以降、保護者と子どもたちを支えてきた保養という支援活動がある。2018年、事故から7年経って、年間延べ1万人以上が保養に参加しているそうです。

## 保養とは

1986年4月のチェルノブイリ原発事故で子どもを放射性物質から遠ざけるための転地療養(保養)。年1ミリシーベルトを超え



る被曝線量の地域から、住人の移住などを国が支援する「チェルノブイリ法」がソ連崩壊の1991年に制定され、ロシア、ベラルーシ、ウクライナ各国はそれぞれ法に則って取り組んできている。国に事故の責任があると。子どもたちは汚染度に応じて1年に1又は2回組まれたプログラムを元に、1ヶ月過ごす。無料。もともと国の政策で保養施設が整備されているのを利用し、汚染のない地域でいることで体内に蓄積されたセシウムを排出。ただし、財政難から行き届かないのが苦しい所。日本の「保養」の言葉はそこから。一方日本では事故後、年20ミリシーベルトを超える被曝が想定される地域を避難の対象に



当事者のための「第三の選択」

## 考え続けたい

「原発事故後の子ども保養支援」(2018年疋田香澄さん)を資料にさせていただきました。保養に関わり続けて来られた著者の疋田さんは『そもそも、事故によって「権利」が侵害されたことがすべての始まりだった』と言われる。それは「避難」と「在住」の中で今でも起こっている気まぜい雰

気(分断)や差別を超えてゆく根本的な考えではないかと思いましたが、そこに立ち返って考える。

## ありがとうございました

まるごと市で館の費用にしてと、何人もの方から品物の寄付を、市の前日には炊き込ご飯の材料刻み、当日は準備から片付けに至るまで沢山の方にお世話になりました。また、まるごと市のチラシも配って下さいました。最後に、出店者の皆様方、野菜

＜10月にこんなことをしました＞

オカリナひまわり



写真は10月7日新しく入られた3名の方が10月から一緒に練習を。4年余りの練習で、指が音符に合わせてスムーズに動くようになってきました。毎週の練習の成果でしょうか。あきら

めずに続けることで普通の演奏が可能になるとわかりましたし、それで皆と共に楽しんですることができました。最初に教えていただいた平岡由利子さんに感謝です。まだまだ知り得ていないことも多々ありますが、その都度理解していくことで乗り越えられるのでは。

絵手紙講習会



10月10日 森本玲子さんから来年4月文化センターミニギャラリー展示のお話と11月はパステルを使うというお話がありました。パステルは昨年未だ経験しましたが、また一歩踏み出して新しいことに、この

日は色鮮やかなザクロが目の前に。描かれた方が多かったです。常に館内に掲示しています。

折り紙教室



10月18日 この日はクリスマスリースと水車(?)を出口宏子さんに教えていただきました。リースの方は1つ折るのに手間が効かかりますが、8個のパーツをくっつけると素敵なリースに。色合いを考えると趣の

も根気強く、最後まで。もうひとつの方は簡単でした。宏子さんはもっと進んだ折り紙を紹介して下さるそうです。

異なったものが。溜息はついて

八幡の歴史16



10月24日 出口修さんは前回に続き、神人のお話をして下さいました。「神職商売」とは神社への奉仕とそれによって商売する権利を神社から保障されるということで、神人の身分は安泰だった

。けれど、神人以外に勝手に商売をする人たちが出来て、その人たちにも「神役」と「庭賤」を徴収するようにと、幕府に「神訴」を。貨幣経済の発展にともなってお金を修めるだけで商売ができる事態があらわれ、神人にはそのことに不満が。また、町名に今も残っているのは柴座で、八幡の山柴。柴は当時の大切なエネルギー源で必需品。現在の京田辺に八幡宮の荘園の薪庄(たきぎのしょう)がありそこから運ばれた。

八幡まるごと館 11月・12月の予定 休館 12月27日(金)～新年1月7日(火)

<p>＜オカリナクラブ ひまわり＞ 楽しめる時。平岡由利子さんを中心にゆっくりと 11月4日(水)13時～ 参加費100円 6(水)、11(月)、18日(月)、25日(月)</p>
<p>＜パソコン教室＞ 基本的には毎週月曜日10時～12時です 11月4日(月)10時～12時 講師 吉田恒夫さん 11日、18日、25日 パソコンを持って来て下さい。参加費用 300円(コーヒーつき) 次月は12月2日、9日、16日の予定です。</p>
<p>＜お話し会3＞日本や世界の昔話 折り紙教室と1ヶ月交替で 11月8日(金)13時30分～講師出口宏子さん 参加費100円(子ども無料)</p>
<p>＜絵手紙講習会＞ ちょっとゆったりしませんか。11月はパステルで。 11月13日(水)です。午後1時30分～ 特に持ち物は要りません。講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は12月11日(水)です</p>
<p>＜歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N017＞ 11月14日(木)13時30分～ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です</p>
<p>＜パッチワーク・サンタさん＞ 申し込み締め切りしました 11月20日(水)10時～ 講師 司馬信子さん 持ち物 はさみ、針、 パッチワーク糸の白とベージュ 参加費 当日集めます</p>
<p>＜楽しい理科の実験 N029 ラムネを作る＞ ご希望の方は必ずご連絡を。 11月22日(金)13時30分～ 講師木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)</p>
<p>＜マツ講習会＞11月27日(水)10時～ 森本玲子さん</p>
<p>＜たくあん漬講習会＞ 白菜漬け等も参考になります。 11月28日(木)10時30分～ 共に簡単な食事をとりまします。 参加費500円(昼食込) 講師 高橋佐知子さん、安井富子さん 要筆記用具実際に漬けるところの実演。レシピを用意しています。</p>
<p>＜木の実のリース作り＞ 11月29日(金)13時30分～ 色々な木の実リースを。持ち物 ハサミ持ち方大きめの袋、グルーガンがあれば。参加費500円 15人になり次第締め切ります。</p>
<p>＜折り紙教室 第9回＞ どうぞお楽しみに。お正月関連折り紙 12月6日(金)13時30分～ 講師 出口宏子さん 参加費材料代は100円</p>
<p>＜1/0(アイウ)クリスマスコンサート＞ 一緒に歌いませんか 12月9日(月)13時30分～ 伊佐昭代さんと岡田佳美さんのデュオ。曲については後日お知らせ致します。参加者も思いっきり歌える場面がありますので、お楽しみに。前座でまるごと館オカリナクラブひまわりがクリスマスの歌等を演奏します。参加費500円(コーヒー他ついてます) どうぞお越しください。</p>
<p>＜しめ縄師講習会＞ 12月20日(木)13時～ 講師小澤延之さん 参加費600円 持ち物 剪定ハサミ、ペンチと千枚通し(ある人は持ってきて下さい) 霧吹き</p>
<p>＜今年度最終野菜市＞ 黒豆等のお正月用野菜の準備を。どうぞ、お越し下さい 12月26日(木)9時～黒豆、地元の新鮮な野菜を販売します。</p>
<p>＜まるごと館納め＞ 野菜市の後、午後12時30分から1年間使用したまるごと館を片づけ、掃除をします。お忙しいとは存じますが、ご参加下さいますようお願い致します。その後、お茶の時間を持ちます。</p>

生産者の方々ありがとうございました。参加して下さいました方々にも感謝申し上げます。次は2020年5月第3日曜日になります。

＜あんなこと・こんなこと＞

\* まとまりもなく、行間も狭くすみません。保養のことは沢山の方々支援者として動いておられ、そういうこともこれから紹介していきたいと思ひます。被災された

方々が地元で保養に行っているということや言いだせない何度も聞いたことがあります。同じ権利を侵害された人たちがバラバラではなく繋がる方向性を疋田さんは示されていると思ひます。

\* 寒くなってきている今、台風19号での多くの避難所生活の方々のご苦しみが頭を浮かびます。(うえたに じゅんこ)